2027年度二級建築士受験対策講座　― 元試験採点官の総合監修 ―

ー本講座は、元国土交通省室長で元試験採点官の総合監修により、高合格率の実績を有しており、中央省庁・県庁や我が国を代表する企業、公立大学の社会人の建築士試験対策講座として採用されるなど、高い信頼性を得ておりますー

長期設計製図講座（通学・通信・併用）

※併用とは、課題発表前期間を通信、課題発表後期間を通学で受講する形態です

ー通学・通信講座ともに同一内容・同一カリキュラム・同一添削数の講座ー

建築学会賞受賞者等、第一級のベテラン講師陣による徹底添削！
今から始めて課題の本質に迫る演習課題の徹底添削で合格を確実にする本格講座！

-早期から合格の基となる製図力と鍵となる建築計画力の「基礎」を着実に効果的に養成するのが確実な合格への道！-

課題発表前からの全33回演習課題の本格講座

【早期基礎課題3題＋前半期10題＋応用課題5題＋後半期10題＋応用課題5題】

Step-1	**合格への鍵となる早期からの着実な準備！**
申込特典	早期重点基礎講座

- RC造の設計製図の基礎を徹底解説したWeb動画(計８回)
  - ①試験内容の見直し公表後の近年試験傾向と対策について
  - ②「設計」の基礎 (建築計画の方法とそれに関連する諸知識の理解・習得)
  - ③「製図」の基礎 (RC造の理解・各種図面の描き方の理解・習得)
  - ④図面の描き方① (平面図、立面図の描き方)
  - ⑤図面の描き方② (断面図、部分詳細図の描き方)
  - ⑥エスキスの考え方
- 早期基礎課題 3課題徹底添削

Step-2	**出題される可能性が高いRC造の計画・製図の基礎力と製図力の徹底養成！**
2月～	試験課題発表前講座

●RC造の基本重要事項の理解　●計画上の重要ポイントの理解
●基礎計画力・記述力の養成　● 10課題徹底添削＋応用課題：5課題

Step-3	**本試験課題に対応する高度な計画力・製図力・記述力の養成！**
7月～	試験課題発表後講座

- 本試験課題の本質的な理解と課題条件の分析・把握
- ●計画・記述の実践力の養成
- ●模擬試験形式による徹底演習による実践力の養成
- 10課題徹底添削＋応用課題：5課題
- ●各課題ごとの重要ポイント解説のWebサポート講義

オンライン 個別学習相談	Zoom上で、本会の講師が**勉強法についての疑問点**やご受講後に生じたご不明の点、ご質問に、きめ細かく直接個別に ご相談に応じます！

講座日程	随時受講申込み受付け中！
受講回数	20回
講座時間	（通学講座）前半期（～6月）：9時30分から16時30分の計6時間、後半期（7月～9月）：9時から17時までの計7時間 （通信講座）ベテラン講師による課題添削：20回 ※通学講座は教室で、通信講座はmailでの質疑応答の回数制限はありません（当年度講座受講期間中に限ります）。
教室	「学科試験（設計製図課題公表）前講座」 高田馬場日曜教室・新宿日曜教室・関西日曜教室・名古屋日曜教室のみの開講となります。 「学科試験（設計製図課題公表）後講座」 日曜コース　新宿/高田馬場/渋谷/横浜/名古屋/関西 土曜コース　新宿/高田馬場/関西 水曜コース　高田馬場
受 講 料	こちらをご覧ください

※1）通信講座の場合は通学講座と同じ課題による通信添削となります。
※2）テキスト代、模擬試験等の受験料は、全て受講料に含まれています。
※3）併用講座とは、課題発表前は「通信」、課題発表後は「通学」で受講する形態となります。

課題発表前からのスタートが合格の鍵となる理由

1　課題発表前からの合格の鍵となる建築計画力の徹底指導！

- 大方の場合の不合格答案の主原因であり、合格のための最重要ポイントである建築計画力を身につけるためには、あくまでも付け焼き刃的準備ではなく、できるだけ早い時期から計画的に準備を進めることが合格の鍵となります！
- 建築計画の基本的な考え方には様々な建物の建築計画に共通する重要な考え方が含まれているため、課題発表前から基本的な建築計画力を身に付けるための課題練習の対象建物が何であるかは関係ないことを理解することが必要です！
- 基本的な建築計画力をしっかり身に付けておくことにより、実際の試験でどのようなバリエーションの課題が出題されたとしても適切に対応することが可能となり、逆に、しっかりした基本計画力が身に付いていないと少し変わったバリエーションの課題が出題されると適確に対応することが困難となってしまいます。
- また、近年の傾向である受験者の考える裁量の余地の多い、自由度の高い高度な課題に適確に対応するために、単に、練習課題を多くこなし、一方的に添削をする従来型の指導ではなく、あくまでも、受講生自身が考える力を身につけることにより総合的な建築計画力を養うための指導をします。
- このため、課題の建物についての本質的な理解、計画上の重要ポイントの理解、課題条件の適確な把握、更に受講生自身の作成した計画案の基本的な問題点についての理解等を深めるために懇切丁寧に指導します。
- また、同時に、この段階で、建築・構造・設備の計画記述力や製図力を着実に養うための指導をきめ細かく行います。

2　課題発表後に本試験課題に即した高度な実践力の養成！

- 発表された本試験課題に特化した厳選された課題による演習で、課題に即したRC造建築物について合格答案の完成を目指します。近年の傾向である自由度の高い課題の条件の一部を受験者自身が的確に設定するために必要な試験課題対象建物についての確実で本質的な理解力を養成します。
- また、課題条件に沿った「地域環境への配慮」等の「より高度で総合的な実践力」を養成します。
- 同時に、建築計画についての適切な記述力及び製図力の一層の充実を図ります。
- 本会講座の演習問題は、本試験の課題内容と結果的に類似の内容を多く含むものとなることもありますが、ヤマを当てる式の勉強ではなく、あくまでも総合的な建築計画力をしっかり身に付けておくことが最も確実な合格への近道となります。

3　演習課題の重要ポイントについての動画解説！

- 課題発表前、課題発表後の演習課題について、各課題の合否の鍵となるエスキース上の重要ポイントの詳細な解説動画を配信します。

4　厳選されたベテラン講師による懇切丁寧な指導！

- 日本建築学会賞受賞者、大学教授、工学博士、設計事務所所長等の厳選された、第一線の幅広い分野で活躍する建築家であるベテラン講師が、近年の傾向を徹底分析して作成された厳選された練習課題により、基礎から応用まで、建築計画力・製図力及び建築・構造・設備の計画の記述力養成のために懇切丁寧な指導を行います。また、受講期間内の質疑応答は、メールにてお受けいたします。ベテラン専任講師より懇切丁寧に対応します。特に回数制限はありません。